

「AI自動翻訳」「miniVlog」「手書き編集」

Powered by

5dB
TOKYO

2026年上半期
SNS
トレンド徹底解剖
発表!!



2026年の上半期のSNS²大トレンドをご紹介します

広がる
世界交流

消費型ミームから
編集型ミームへ

Content 1.

広がる世界交流

AIの発達によって世界との距離が近くなる

概要

AIの翻訳機能によって言語を超えた交流が活発化

2026年にXでのアップデートによってAIのGrokを活用した、投稿の自動翻訳機能や言語を超えたレコメンド機能が本格始動しました。

このアップデートにより、**日本語で行った投稿が自動で翻訳されて、海外ユーザーのおすすめタイムラインに表示される**ようになりました。

今まではノンバーバルで理解しやすいコンテンツが世界に広まりやすい傾向がありましたが、言語の自動翻訳により自国の言語のまま海外へ広まる可能性が高まっています。

言語の壁はSNS上ではどんどんなくなり

他の国へのカルチャー理解が深まっていくことが考えられます。

海外との交流で盛り上がった3つの事例

BBQで世界交流

自国文化を楽しんでくれる嬉しさと海外からの発信が加速

話題の背景：

日本で海外のBBQのイラストが話題になり、アメリカのユーザーがBBQをする様子を日本人向けに発信して話題が広まった。



X 3日間で

50万
mention
以上獲得

*日本語と英語の投稿を含む

直接質問する

質問やアドバイスはその国の人に向けて直接聞く！

話題の背景：

「アメリカ人に質問です」「韓国のお姉さんたちこんにちは」などその国の人に向けて日本語で発信することで、直接質問をする行為が増加。



例：
韓国コスメについて
質問する

지혜 🇰🇷 코덕 @kbeauty_jihye
韓国で人気があるのはこちらです↓

国を超えて広まる

韓国語の発信でも日本人のタイムラインに登場し投稿が拡散

例：猫のゲーム

話題の背景：

韓国人のユーザーが韓国語で紹介した猫をブラッシングするゲームの投稿が、日本でも話題になり大きなバズになった。もともとの発信では英語・日本語も含まない投稿ではあるが日本でも大きく話題になった。



ゲームの紹介投稿への
いいね数

24万
いいね以上

なぜ流行るのか？

海外の文化を知るおもしろさを発見

日本のXのユーザーが多く、海外から日本人がおもしろがって反応をしてくれることが知れ渡ったことで交流が活性化。言語の壁がAIによって取り払われていくことで**他国の文化理解を深め、文化の壁もどんどん薄くなっていく**と考えられる。

海外

日本人がたくさん反応してくれる

+

自国の文化を受け入れ
楽しんでくれるのが嬉しい



日本

海外の知らない世界を
知れておもしろい！

自動翻訳によって何が変わる？

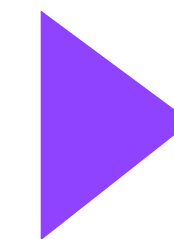
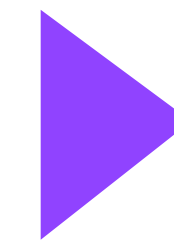
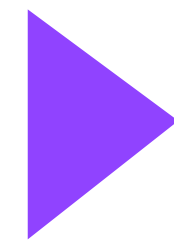
AIの自動翻訳によってトレンドの広まり方が変わる

これまで

ノンバーバルで伝わるものが
海外にも広がる

海外で流行ってから
日本にやってくる

日本のカルチャーを
理解する人に向けて届く



これから

自動翻訳されて自国の言語のまま
海外にも広まる

海外と日本で同時に流行る

意図せず海外に広まり
予期せぬ炎上になる可能性もある

Content 1.

広がる世界交流

AI自動翻訳で自国の言語のまま世界デビュー

2026年上期のXのアップデートによって言語を超えて投稿がおすすめに表示されるようになり、**日常の中で簡単に、そして気軽なテーマでの会話**が広まっている。

言語の壁はSNS上ではどんどんなくなり

他の国へのカルチャー理解が深まっていくことが考える。

自動翻訳によってなにがかわる？

自動翻訳されて
自国の言語のまま
海外にも広まる

海外と日本で
同時に流行る

予期せず
海外に広がる

*ポジティブにもネガティブにも作用する可能性あり

Xで日本と海外で盛り上がっている話題

BBQで世界交流



自国文化を楽しんでくれる嬉しさで海外からの発信が加速

話題の背景：

日本で海外のBBQのイラストが話題になり、アメリカのユーザーがBBQをする様子を日本人向けに発信して話題が広まった。

直接質問する



質問やアドバイスはその国の人に向けて直接聞く！

話題の背景：

「アメリカ人に質問です」「韓国のお姉さんたちこんにちは」などその国の人に向けて日本語で発信することで、直接質問をする行為が増加。

国を超えた拡散



韓国語の発信でも日本人のタイムラインに登場し投稿が拡散

猫のゲーム：

韓国人のユーザーが韓国語で紹介した猫をブラッシングするゲームの投稿が、日本でも話題になり大きなバズになった。もともとの発信では英語・日本語も含まない投稿ではあるが日本でも大きく話題になった。

Content 2.

編集型ミームの兆し

オリジナリティ志向の高まりにより
消費型ミームから編集型ミームへ

概要

消費型ミームから編集型ミームへ

2026年のTikTokおよびInstagramなどの動画コンテンツでは
“オリジナリティ要素”を入れ込みやすいフォーマットが話題となりました。

「miniVlog」「setlog」のような短尺Vlogに加え、
「mosi mosi?」楽曲を使った手書き歌詞フォーマットがトレンドとなっていました。

「ただ流行りに乗りたくない」「個性を出したい」というような

オリジナリティ志向の傾向がより顕著に。

今後は「ただ真似できる消費型ミーム」よりも、

創作体験ができる/編集要素のあるコンテンツや施策への

興味関心がより高まっていくのではないのでしょうか。

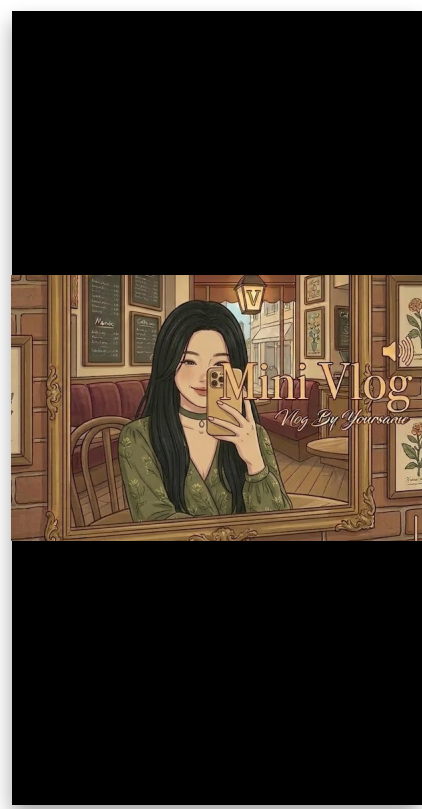
2026年上半期に話題となったコンテンツ

POINT 変数要素の多さ

効果音×画角で個性や
オリジナリティを演出

● miniVlog

ミーム誕生の背景：
横型で数秒ずつの動画を組み合わせた短尺Vlog
動画に合わせた効果音でのアレンジや、広角からよ
りなど画角でのオリジナリティもみられた。



Instagram

1,060万

TikTok

940万

件以上

※2026年5月時点での
#miniVlogの累計投稿件数

POINT 安全な自己表現

友人やパートナーとの何気ない日常を
特別なものへと昇華する

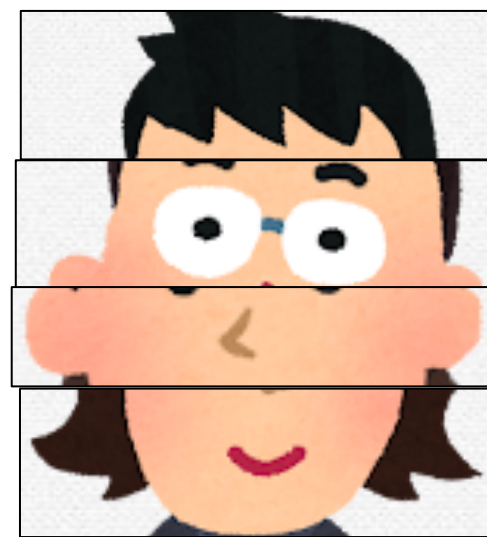
● Setlog

ミーム誕生の背景：
1時間ごとに約2秒の動画撮影をすると、自動で1本
のミニVlogができるアプリ。複数人で1つの動画を作
り楽しむ中で、顔のパーツを決め撮影したり、テ
ーマカラーを決めたカラーハンティングをしたり、撮
り方への工夫がみられている。

▼カラー縛り



▼顔パーツ縛り



TikTok
#Setlog 約1.1万件

Instagram
#Setlog 約1.7万件

POINT 平成懐古

手書き文字で唯一無二の作品に

● mosi mosi?/SASANE

ミーム誕生の背景：
SASANEさんがリリースした「mosi mosi?」楽曲に
合わせ、歌詞を手書きで合わせる動画フォーマット
が話題に。



TikTok

mosi mosi?
楽曲の使用動画は

17.6万

件以上

なぜ流行るのか？

“安全な自己表現”を求めている

「個性を出したいが、失敗したくない」「流行りには乗りたいが、ただ乗っかるだけは嫌だ」というインサイトからテンプレを真似するだけではなく、
“**オリジナリティ要素を出せる**”仕組みが編集型ミームへの参加を促している。

例：setlog

同じカラーハンティングでも、その人により
選ぶものが異なるという個性に繋がる



内輪の繋がりを大切にする

自分たちのコミュニティの連帯感を高めるような
コンテンツに注目が集まる。

安全な自己表現

型によりある程度の枠組みはあるものの、
“自分らしさ”が伝わる要素を入れられるのが魅力。

自己表現の変遷

自己表現の幅がより広くなり、創作体験を求めるように

2025年：ミニマム自己表現

少し手を加えて参加度を高め
“自分らしさ”を差し込めるのが魅力。

例：ヘッダーに収まらない

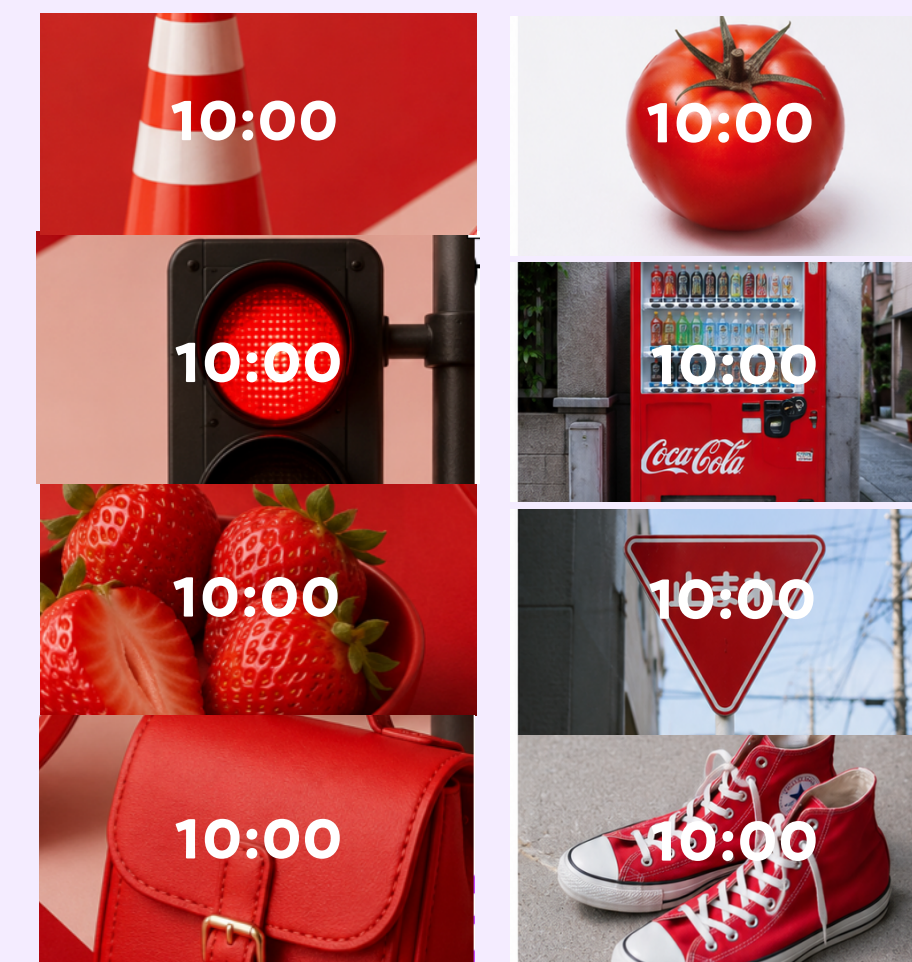


2026年：安全な自己表現

型によりある程度の枠組みはあるものの、
“自分らしさ”が伝わる要素を入れられるのが魅力。

例：setlog

同じカラーハンティングでも、その人により
選ぶものが異なるという個性に繋がる



Content 2.

編集型ミームの兆し

消費型ミームから 編集型ミームへ

2026年は“オリジナリティ要素”を入れ込みやすいフォーマットが話題。今後は**創作体験ができる/編集要素のある**コンテンツや施策への興味関心がより高まっていくのではないかと見られる。

着目！ユーザーインサイトの変化

2025年

ミニマム自己表現

少し手を加えて参加度を高め
“自分らしさ”を差し込める
ことが魅力

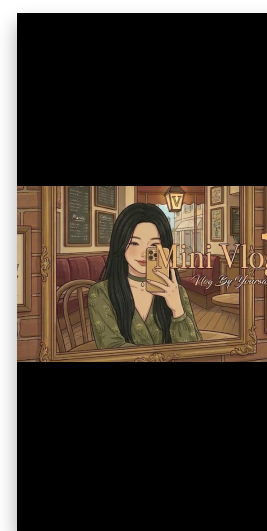
2026年

安全な自己表現へ

型によりある程度の枠組みはあるものの、
“自分らしさ”が伝わる要素を
入れられるのが魅力。

TikTok/Instagramで話題のミーム

変数要素の多さ



• miniVlog

ミーム誕生の背景：
横型で数秒ずつの動画を組み合わせた短尺Vlog
動画に合わせた効果音でのアレンジや、広角からよりなど画角でのオリジナリティもみられた。

▶効果音×画角で個性を演出

安全な自己表現



• setlog

ミーム誕生の背景：
日常を「断片的に記録する」ことに特化し、1時間
毎約2秒撮影で、自動で1本のミニVlogが完成するアプリ。
撮影手法でオリジナリティを演出。

▶日常を特別な思い出に昇華

平成懐古



• mosi mosi?

ミーム誕生の背景：
SASANEさんがリリースした「mosi mosi?」楽曲に
合わせ、歌詞を手書きで合わせる動画フォーマットが話題に。

▶手書き文字で唯一無二の作品に

2026年これからの兆し

2026年これからの兆し

日常映えの拡大

2つのトレンドの傾向から「何気ない日常をどのように楽しい日々に変えるか？」への関心が高まっているように見られた。今後の兆しとして、日常を楽しむ工夫への着目が高まっていくと考えられる

特別な場所へ
行って映えさせる

イメージ：Instagramの流行

日常のありのまま
を映しとる

イメージ：BeRealの流行

日常を
映えさせる



ブランド・企業に関する話題に特化した調査のご相談は、
以下メールアドレスまでお問合せください。

Contact info@65db.jp